

## 3 年下

## すがたをかえる大豆

新地町立駒ヶ嶺小学校 大山 美紀子




## 単元の特徴・付けたい力

本単元では、「すがたをかえる大豆」を読んで説明の仕方の工夫を理解し、それらを活用して、児童自身が相手に伝えたいと思う食べ物について、説明する文章を書くことで書く力の定着を図る。また、書籍を使って調べたり、集めた情報を整理したりすることで、読書や情報の取捨選択の経験を重ねながら言語感覚を養うことも可能であるとする。単元内では、読み手として事例の選び方や順序立てた文章の構成などに着目させるとともに、書き手として工夫してわかりやすい文章を書くことを目指す。

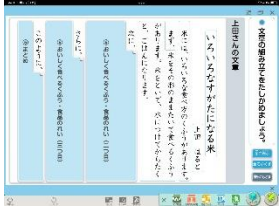
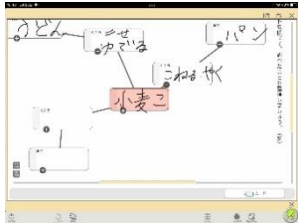
## ICT・デジタル教科書の活用について

読み取りの活動では、デジタル教科書を使うことで、文章全体を「はじめ・中・終わり」に分けたり、「中」の部分の詳細を読み取るために「おいしく食べるくふう」にサイドラインを引いたりして視覚的に明確化でき、言葉への着目や吟味に有効であるとする。文章を書くときには、デジタル教科書にある「ワーク」の図や表を用いることで、考えの形成や練り上げが容易となり、思考の一層の深まりや活性化も期待できる。

## 全時学習活動（全 15 時間）

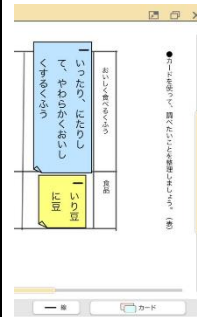
時	主な学習活動	
1	学習課題を設定し、学習計画を立てる。	
2	「はじめ・中・終わり」の組み立てをとらえ、「中」の事例を整理する。 教科書を「せん」で色分け	
3	文章の説明内容に合った「問い」を考える。	
4	段落の中心となる文や接続語に注目して、「中」の書かれ方について考える。 教科書を「せん」で色分け	
5～6	筆者の説明の仕方の工夫をまとめ、感想を伝え合う。	
7	ここまでの学習を振り返る。	
8	書く活動の見通しをもち、食材を決め、調べる。	
★9～10	食べ物について調べた内容を整理する。	
11	組み立てと例の書き方を考える。	
12	文章の下書きをする。	
13	文章の清書をする。	
14～15	友達と文章を読み合い、感想を伝え合う。単元の学習を振り返る。	

★9～10 時の指導計画例

<p>◇学習活動・指導上の留意点 ◆ICT・デジタル教科書の活用場面</p>	<p>◆児童の反応 □先生の感想</p>
<p><u>導入：前時の振り返り</u></p> <p>◇デジタル教科書の「ワーク」〈文章の組み立てをたしかめましょう。〉を見直し、「まず」「次に」「さらに」という、例の順序が分かる言葉を使うことに触れ、分かりやすい説明の仕方について想起させる。</p> <p>◆「ワーク」の例文「上田さんの文章」を見直しながら、前時の学習を想起させることにより、本時の活動で大切なことを押さえさせる。</p>	<p>◆デジタル教科書やノートを見直し、順序を表す言葉やその他に気づいた分かりやすくする工夫について思い出し、自分が説明する文章を書くときに使おうとする意欲をもった。</p>  <p>□付箋で隠されているところに「おいしく食べるくふう・食品のれい（一つ目）」と分かりやすく表示されているので、工夫と調理法についてまとめることが明確化され、作業させやすい。</p>
<p><u>展開(1)：本時のめあてをつかみ、調べたことをデジタル教科書に書き込む。</u></p> <p>◇めあて「調べたい材料をえらび、どんな食品にすがたをかえているか調べよう。」をつかむ。準備しておいた関連する図書を読んで、自分がどの食材について調べるかを決める。</p> <p>◇決めた食材について、デジタル教科書の図を見せて、調べたことを整理する方法を確かめさせる。</p> <p>◆「ワーク」〈調べたことを整理しましょう。(図)〉を表示し、中央に「材料」、そして「くふう」「食品」を線でつなぐようにする。机間指導を行い、個別に問いかけをしたり、参考図書を読むように促したりして思考させ、図の作成を支援する。</p> <p><u>展開(2)：調べたことをデジタル教科書上の表に整理してまとめる。</u></p> <p>◇自分の選んだ材料で、図を作成した内容について、表に整理することにより、分かったことを可視化する。さらに知りたいことや疑問があれば、他の本やインターネット等で調べる。</p>	<p>◆参考図書を見ながら、自分がどの材料について説明する文章を書くのか、じっくりと考えた。教科書 P5 1 に「米」「麦」「とうもろこし」「牛乳」「魚」「いも」の材料が紹介されているので、その中から書いてよいことをアドバイスすると、「〇〇で書いてみたい」と自分で見通しをもつことができた。</p> <p>◆デジタル教科書にアイディアマップを描くことで、楽しみながら図を作成して、考えたことを整理することができた。</p> <p>□デジタル教科書でカードの付け足し方や字の入力の仕方、拡大・縮小の仕方等に関して、支援が必要であった。</p> <p>◆参考図書の情報から、「おいしく食べるくふう」は何かを正しく抜き書きすること、工夫によってできる「食品」を見つけることなどを、読み取る時間に個人差があり、個別に支援する必要があった。</p>  <p>◆図や表を使って整理すると、目で見て分かりやすい。デジタル教科書なので、間違いも訂正しやすい。他の本や家の人に聞くなり、もっと調べたいと思った。デジタル教科書に、いろいろ書き込んでいた。</p>

◆「ワーク」く調べたことを整理しましょう。(表)に「おいしく食べるくふう」と「食品」をまとめることにより、集めた材料を比較・分類して整理させる。

□教科書本文「すがたをかえる大豆」を読み直しながら、「中」の部分の調べを行った。大事な部分「おいしく食べるくふう」「食品」を正確に抜き書きする練習になった。デジタル教科書の操作は、試行錯誤しながら行っていた。操作や調べ方などで、教え合う姿が見られた。



まとめ：本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。

◇調べ方や調べて分かったことについて、考えたこと・大切だと思ったことをノートにまとめる。次時は、文章の組み立てや例の書き方を考え、下書きをすることを学ぶ。

◆デジタル教科書で、調べたことをまとめた図や表を見直しながら、自分が調べて分かったこと・考えたことをノートに書いた。

□デジタル教科書への書き込みとノートへのまとめを使い分けして、学習していた。